

2005年度「雑木林塾」受講生募集！ 調布の森を知ろう

～主 催：調布市環境部環境保全課～

市内にはどんな樹林があるのか、どんなふうにと人と関わってきたのか、見て知って考えてみませんか。この「雑木林塾」講座（全6回）は、調布の自然のために何かできることを探したい方を対象にしています。特別な知識や道具は必要ありません。講師を招いての自然観察・見学会・情報提供を多く予定しています。また市内で行われている樹林保全活動に関する情報を提供します。ぜひご参加ください。

日 時：第1回 9月29日（木）18：30～20：30 場所：市役所6階 第6会議室
内 容：開講式と座学 雑木林とは何か/市内の樹林の変遷 講師：小豆畑耕一（環境保全課課長）
申 込・問合わせ：0424-81-7086 環境保全課へ（担当：飯田・佐々木）
今後の内容予定は変更する場合があります。2回以降の日程場所は申し込み頂いた方に追ってお知らせします。

- 第2回・調布の樹林の今の姿を見る ～市内樹林めぐり～
- 第3回・調布の樹林の今の姿を見る ～市内樹林めぐり～
- 第4回・実践・樹林の生き物調査 ～フィールドの自然を調べる～
- 第5回・雑木林と人々の暮らしの関わりを知る ～先人の雑木林とのつきあい方～
- 第6回・ディスカッション ～これからの人と雑木林のつきあい方～



2004年度講座の様子
写真上：かに山の見学



下：佐須用水の見学

2004年度受講生の感想から

- *調布には素晴らしい森、山が存在していることを実感できました。又、湧水、谷戸など、都会で見られるとは思っていませんでした。10年ぶりに拾って食べたスダジイの実が嬉しいものでした。
- *・緑を守るということを深くは考えていなかったのですが、少しずつ分かるようになる気持ちが芽生えてきたように思います。楽しみながら勉強していきたいと思います。
- *緑の保全を子ども達に伝えられる方法を考えていきたい。
- *かつては緑の「質」より「量」だった。再度「質」を！
- *雑木林から里山へ範囲を広げ、地域の財産としてどう位置づけるか自然との交渉を考えることですね。
- *緑を守るにはいろいろなアプローチのしかたがある事を知りました。

むかしの調布-人と雑木林のおつきあい

平成12年度調布市環境マップ等作成事業：古老のききとりより

- *当時は皆、薪は近くの山からとっていた。雑木なら何でも薪として使った。どこの家にも薪小屋がありそこで乾かして使う。山を持っている家は自分の山から、持っていない人は買った。（深大寺北町 Yさん）
- *大正の頃は崖線の上は野原で、ウサギの糞がかたまっているのをよく見た。（若葉町 Nさん）
- *林で遊ぶことが多かった。木登りや竹馬、刀を作って遊んだ。（深大寺南町 Tさん）

入間・樹林の会

8/21(日) 樹林地入り口に「調布都市計画緑地事業」の看板が掲示されていました。今年から3年間の事業で05年度は入間町1丁目他樹林地の購入、来年度から散策路などの事業を、地元と協議して始めるとのこと。

キツネノカミソリが10人の参加者を迎えてくれました。雑木林のひろばをそよぐ風が、笹刈り作業中も心地よかったです。

今回は顔を埋めての笹刈りだったが今回は丈も短く作業がはかどりました。真夏の樹林地はヤブランの花がとても目につきクサギ・ミズヒキ・ギンミズヒキ・ヤブミョウガ・ハエドクソウ・ヒナタイノコズチが咲いていました。スズメバチの巣をはじめ樹林地内で発見したので今後も注意が必要です。そして先月号の写真のあのヤマユリが球根ごと無くなりました。心無い行為はとても残念です！(安部)



キツネノカミソリ



ヤブラン

カニ山の会

8/13(土) カニ山利用者の声を聞く

今回は東樹林地の管理作業をする前に利用者アンケート調査を開始。始めは時間が早かったせい、調査対象者がいなかったため、カニ山でゴミ拾いをしたりヤブランの咲き誇る林内の観察をしながら今後のカニ山のイメージをふくらませた。

昼近くになって親子連れで遊びに来た人や散歩する人達に聞き取りをすることができた。気に入っている点とし、やはり「自然が多いこと」とをあげた人が多い。整備や管理に関してもいくつか要望があがったが基本的には「このままの自然を残して欲しい」という意見が多かった。

回答の「このままで良い、というのは『雑木林』というイメージが失われているせいではないか」という声もあり、「シンポジウムのようなことができれば・・・」という希望が出された。(鍛冶)



調布DE田んぼ日記

ピンチ? イチモンジセセリが大発生!

この一月間はまあまあの天候に恵まれ田んぼは先日の台風11号での被害もありませんでした。

この時期の田んぼでは毎年「イチモンジセセリ」という、蝶と蛾の間のような虫の食害に悩まされています。この幼虫は「イネツトムシ」とも呼ばれ、その発生が今年は特に多く、株一つがほとんど食べられてしまうようなこともありました。人の手でとって、とてもとりきれません。少々収穫量に影響が出そうで心配です。

話はまったく変わりますが、8/7の早朝、カニ山のホタル園とキャンプ場の間の舗装道路をサワガニが渡っていました。しかもメスでおなかに孵化寸前の卵を抱えていました。カメラを持っていなかったのが残念、まさかの出会いでした。生き物が戻ってきたとしても繁殖できる環境がなければだめ。

もっと湧き水を確保し、生き物を保護できる場所が必要だと改めて感じました。(たんぼの学校 こんどう)



昨年よりやや遅れて穂が出ました。



これがイネツトムシ



8/13 ほとんどが食べられてしまった

環境モニター

8/6(土) 今月は堰法面(せきのりめん)まではあまり時間をかけずおおまかに記録し、法面の植物の観察記録に時間をかけた。

オギやヨシが大きくなりすっかり夏の多摩川の風景。カルガモの子どもが成長し、ウシガエルの声も聞こえます。草むらに足を踏み入ると大きなショウリョウバッタが飛び交います。確認できた鳥はアオサギ、ダイサギ、カワウ、ツバメ、イソシギでした。



「コマチグモの仲間の巣」にご用心!

オギなどの葉をチマキ状に丸めた形の巣がいくつかありましたが、これをうっかり開くと、かまれて痛いので、野外活動の時には「要注意」だそうです。(報告:かじ/ 写真:羽生田)

ひと

カニ山の会 小島圭二さん 44歳



転勤で調布市深大寺北町に住み始めて9年目。キャベツ畑が広がり、森のような屋敷林がそこかしこに。遠慮のない四十雀に早朝から起こされるここはホントに東京なのか？ 今では地方都市でも見ることが難しい風景と営みが残っており、とても良い所に住んでいると感じます。そう言う私も調布の自然保全活動への関わりは浅く昨年の

「雑木林塾」への参加が最初です。以前から、奥多摩で森林保全活動に携わっており、森林インストラクターの資格を取得しました。その頃から、都市部における樹林の保全に興味を持っていたところ調布市主催の「雑木林塾」を知り受講しました。受講後は雑木林塾の卒業生達と一緒にグループをつくり、カニ山で崖線樹林の保全活動を行っています。私は20年間、橋や道路等の公共土木施設の設計に関わってきました。設計には技術的な知識の他に、地域の自然環境や社会条件の理解が必要ですが、地域の活動に関わるようになり、さらに強くこれらの総合的な視野の必要性を感じるようになりました。今は、自然保全活動だけではなく様々な方面について勉強しています。その中で都市部での自然環境の保全には、社会的な知識と行動が必要ですが、根本は自然を残したいという心だと感じます。私が調布に住み始めてからも緑地の開発が進み、貴重な空間が減少しています。調布市の多くの方々に、とても大切な自然が残っていることを感じていただき、次世代に引き継ぐことができるような活動をしたいと考えています。

環境保全課の窓口

第2回環境基本計画策定委員会を開催

日時：7月28日(木) 18:00~20:30
 場所：文化会館たづくり9階 研修室
 出席：委員18人、事務局9人、傍聴2人
 重点的に取組むべきテーマについて検討し、緑と水、地球温暖化、景観・開発、ごみ、進行管理の5つのテーマが取り上げられた。また、重点テーマとは別に、佐須用水の自然再生をケーススタディとしてとり上げ、検討することとなった。
 * 議事録は市のホームページで閲覧できます。

環境基本計画策定委員会 市内視察

日時：8月16日(火) 13:00~17:30
 出席：委員14人、事務局4人
視察コース 市役所 調布基地跡地 深大寺周辺 青渭神社 深大寺自然広場 上ノ原公園 調布ヶ丘準工業地域 市役所(深大寺から上ノ原公園までは徒歩)

「第3回環境基本計画策定委員会」開催

日時：8月30日(火) 18:00~20:30
 場所：文化会館たづくり10階 1001学習室
 重点テーマ 緑と水・景観、地球温暖化・ごみ、進行管理の3つのグループに分かれ、ワークショップ形式で議論しました。

次回「第4回環境基本計画策定委員会」
 9月22日(木) 午後6時~たづくり10階 1002学習室にて開催します。傍聴可です。
 (環境保全課：佐々木)

~ ちょうふ環境市民懇談会 ~

(活動グループ) れんらく会

8月の連絡会はお休みしました。
 9月の連絡会は9月20日(火) 18:30~
 場所:たづくり10階和室花木にて開催します。

運営委員会

日時：2005年8月8日(月) 18:30~21:10
 場所：たづくり301会議室 出席：13名

- 1) 環境基本計画に望むこと
 懇談会から環境基本計画策定委員会に出ている江刺委員から内容と今後の進め方の説明があった。
- 2) 今後10年間で懇談会としてとり組みたいこと・取り組むべきことについて話し合った。
 (懇談会で特に注目する地域を) 佐須、深大寺地区に絞る。継続的に環境にかかわる市民を増やすことを目標とする。(ファンクラブで2万人の参加。緑のサポーター制度創設など)
- 3) 深大寺佐須地区総合モデル事業の現状・経過の説明があった。基本計画策定委員会でも実行モデルテーマとして取り上げられている。計画は継続中だが、予算がついていない。教育委員会との調整も課題となっている(環境保全課)。

<意見交換>・佐須の自然再生は自然の要素が多く含まれているのでそろそろその辺の再生に手をつけていくべき・地元での賛成を得るようなアクションが大事。とにかく話をするのが大事・今までのように行政からトップダウンで計画を進めるのではなく地域から盛り上げていくのは大切・農家との窓口の産業振興室にも市民と農家が集まって話す機会・場があればいい。環境保全課も他の課も横断的なつながりを持ち話し合える場を位置付けていったらいい。など。

調布・あちこち



アオバズクのつがい調布の樹林地に住んでいます。耳をすませて！ (05.8.月 photo: A. Sato)

保全活動・イベント案内

環境モニター

9/3(土) 9:30~16:00/集合場所:みんなの広場南土手ベンチ付近
内容:植物調査(ワンド下流)

今年度は通年、植物調査をしています。また年2回調布の見所を紹介する「調布・そぞろ歩き」を実施しています。企画・案内のできる方歓迎です。市環境保全課までご連絡ください。

かに山の会

日時:9/10(土) 10:00~12:30
場所:深大寺自然広場入り口集合(野草園前)
内容:植物調査/11月お楽しみイベントの相談

原則第2土曜が活動日です。興味のある方、お近くの方、どうぞご参加ください。

人間・樹林の会

9/18(日)9:30~12:30 人間地域福祉センター集合 /内容 落ち葉だめづくり・下草刈り

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方はぜひ環境保全課にお問合わせください。直接地域福祉センターに来訪も可です。

れんらく会

9/20(火)18:30~20:30
場所:たづくり10階 花水木(和室)
内容:活動経験交流など

市内で自然環境の保全活動しているグループ・個人の情報交換の場です。初めての方もどうぞ。

懇談会-運営委員会

9/12(月)18:30~20:30
たづくり3階 303会議室
内容:環境基本計画に望むこと-第2回
活動報告イベント企画 ほか

調布の自然環境について市民と行政で話し合います。興味のある方はどなたでも参加歓迎です。

サポーターの皆様、ご協力ありがとうございました

平成17年度 第2回子どもエコクラブ 05・8・6カニ山デイキャンプのご報告

午前10時、気温34度。夏休みの真ただ中、16家族46人と講師ほかサポーター11人+事務局が、野草園前に集合。

強い日差しを避けるため早々に山キャンプ場へ移動し、小池講師の指導のもと早速焚き木拾いを開始。全員の力で枝や枯木が集められ3つのカマドに型良く積み上げられた。点火されたカマドには、地元調布産朝採りのトマト、パプリカ、ジャガイモ、カボチャ、モロヘイヤが大きな鍋の中で踊っています。これからカマドはフル回転となりました。

パン生地づくり体験。小麦粉にイースト菌、塩、マーガリンを混ぜ牛乳で根気よく練る作業にみんな一苦勞。出来上がった生地は、120センチ程に切断した竹へらの先に巻きつける。カマドの周りに集まり遠火で15分程焼くとパンの焼き上がり。こうばしい香りのパンと野菜スープの昼食メニューに参加者一同、大満足でした。



かまどでパン焼き体験



午後は昨夜から仕掛けてあったトラップの回収です。上部を切り取ったペットボトルを地面に埋め、中に昆虫の好むゼリーを入れた仕掛け。オオカマキリやテントウムシモドキがかかっていました。

観察中に子どもたちが、カブトムシの頭やタマシの羽根を発見。何と犯人はカラスで好んでカブトムシやタマシの胴体を食べるそうです。

3時、夕食のカレー作り。会員はタマネギやニンジンの皮むきを担当。家で食べるよりおいしいと大なべ3つを完食。楽しい思い出を胸に山を後にしました。(環境保全課:飯田)

編集後記



緑があると葉っぱの蒸散作用で周辺の気温が下がります。我が家の東向きバルコニーにはスタレをかけました。ぐっと涼しくなりますね。さらに風呂の残り湯で打ち水大作戦。つる性の植物でグリーンカーテンもぜひお試しを。 編集当番:江刺益子(^.^)

ちょうふ環境市民懇談会は調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、話し合いなどの活動をしています。ぜひご参加ください。

発行: ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 0424-81-7086
E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp